

図書館だより

2024年度 第10号



展示

情報社会に生きる

情報の収集・利活用法、
情報リテラシー、生成AI、
SNS、情報科学

図書館の今月の展示は、「情報社会に生きる」です。

現代の情報社会では、日々莫大な情報が生産されています。

洪水のように押し寄せる情報の中からどの情報を選び取り、どのように自分の活動に活用していくのか？生成AIやSNSとどのようにつきあっていくのか？

指針となるような本を集めて展示しています。ぜひご覧ください。

新着図書から

理科の時間

(なるにはBooks 教科と仕事)

松井大助



「教科と仕事」シリーズの1冊。他に「国語の時間」「数学の時間」と「英語の時間」を所蔵しています。

農業経営者、気象予報士、水族館の飼育員など現役の職業人へのインタビューを中心に学校の理科で学ぶことと職業との関わりが解説されています。

「学校の学びを社会で活かせ！」という副題の通り教科の学びが社会でどのように活かされるかを考え、好きな教科から将来の進路を考える際に役立つ本です。

みんなが使いやすい 身近なユニバーサルデザイン

白坂洋一 監修

1 文房具・ファッション、2 家電・キッチン用品、
3 生活用品・スポーツ・ゲーム の全3冊。

だれでも使えるハサミ、ジェンダーレス制服、タッチレス照明スイッチ、ワンハンド調理台、360°歯ブラシ、だれでもあそべるトランプ…名前を聞いただけではどんなものかイメージしにくいかもしれません。しかしどの製品もバリアのある人たちが使いやすいようにと工夫をこらして開発されたものです。開発の結果、すべての人が使いやすい製品となり、多くの人のためになっています。



限界を打ち破る 大谷翔平の名言

桑原晃弥

この本は、今や「史上最高の野球選手」のひとりとなった大谷翔平選手の幼少期からの名言を集めて編集した本です。

挑戦の背中を押す言葉や、挫折を乗り越えるための言葉など、子どもの頃から大好きな野球に取り組んできた大谷選手のまっすぐな言葉が心に響きます。

今、何かに挑戦しようと上昇している人、挫折を感じてメンタルが下降している人、どちらの人にも「効く」言葉の数々に触れてみてください。

